

社会福祉法人ユーカリ福祉会

平成 30 年度

東久留米市立上の原さくら保育園 事業報告書(案)



社会福祉法人ユーカリ福祉会

東久留米市立上の原さくら保育園

〒203-0001 東久留米市立上の原1-2-44

TEL 042 (477) 1359

FAX 042 (420) 9166

E-mail:sakura39@vivid.ocn.ne.jp

<https://yuukari-uenohara-sakura.jimdo.com/>

<http://sakura-hoikuen-blog.blogspot.jp/>

1. 運営管理

(1) はじめに

平成 30 年度においても園の保育の見直し及び今後の取り組み課題の整理等に取り組んだ。理念や内容については、前年度 3 月末の入園進級説明会や職員の全体研修において保護者や職員に伝えてきた。平成 29 年度に引き続いての理念の具現化は十分とはいかないまでも、「育児担当制」「異年齢保育」「食農保育」「遠野のわらべうた」等の取り組みについて、研修会や会議の方法を一部見直し、非常勤職員が参加しやすい体制を整えることで、少なからず職員の共通理解を深められる機会を増やして行くことが出来た。今後も研修会や会議・打ち合わせ等で互いの気付きが促されるような機会を作っていかななくてはならない。日々の保育は非常勤・パート職員の力なくしては成立しない。この点についても、各部署でパート職員との話し合い・業務確認の場を設けたことで以前より情報を共有することが出来た。全体での確認の機会が少なかったことは反省として次につなげていく必要がある。

「環境を通じた保育」という点では、様々な研修からの最新の知見及び先進的な取り組みをしている他法人の園を見学して得られた知見に学びながら、子どもたちの意欲や意思を引き出すことができる環境づくりに努めてきた。「子どもの最善の利益」を保障するという点で、どのような環境を整えていけば良いのか、これまでの積み重ねに加えて全職員の共通理解は深まってきたように思う。環境という点における保育室を中心として、採光・照明の取り扱いについて検証を重ねたが、園としての統一した考え方までは到達できなかった。次年度も情報収集と検証を重ねて、良い環境になるように努めていけたら良い。

地域の理解と協力では、地域自治会や団体の方々にも園行事に参加頂いた。今年度は隣接の高齢者施設との交流の機会が得られ、年長児も良い経験ができた。今年度も社会福祉協議会の取り組みについては年間を通じて協力をした。「赤い羽根募金」「歳末助け合い募金」も職員の意識が高まり積極的に関わってくれて、昨年度以上に地域福祉の理解につながる良い機会となった。

今年度は市内の社会福祉法人（市内で事業を行う法人含む）の連絡会に参画することになった。社協からの要請で園長が幹事として関わるとともに、職員も情報交換会に参加する等、市内の他法人施設との連携も深められた。連携保育では、たんぽぽ保育園と連携協定を結び、行事等の案内も行ってきたが、今年度については大きな交流の機会や当園の保育資源の活用はなかった。

地域の子育て支援では、園庭開放、遊びの会、ポニー交流、木工遊び等を年間通して行い好評だった。そうした行事的な事の他、主には一時保育利用の保護者を中心に担当者による育児支援が活かされる部分が多かったように感じる。一時保育は地域と一番身近に関わる事業でもあり、地域子育て支援の位置付けをより一層強化できると良い。

今年度は園としての労働安全衛生環境の基本的構築が出来た。園内に衛生委員会を立ち上げ、定期的な職員主体の協議の場も設けることできた。産業医からの専門的アドバイスと合わせて、労働環境に関しての職員の意識を高めていく素地ができた。次年度以降も取り組みを発展させ、職員たちが心身とも健やかに職務にあたるように労働安全衛生環境づくりに取り組んでいけたら良い。

今年度は第三者評価を受審した。保護者アンケートからの自由記述のコメントに対しては、園の見解や今後の取り組み方針まとめて配布した。職員アンケートの内容も含めて、当園として取り組んでいかななくてはならないことを整理し、今後の保育の質の向上に活かしていく。

保育の質という点では、今年度は年間を通して人的配置が不安定な状況となった。そうした中でも日々の保育に取り組んできた職員に対し、非常勤職員の賃金単価の改善や正規職員の処遇改善額の増額等を計画的に実施することで配慮した。今年度の職員たちの保育に対する真摯な取り組みには、心より敬意を表したい。

(2) 基本方針

保育目標 「豊かなこころと、丈夫なからだ」

子どもたちのしあわせのための約束

○やさしい心を育み、勇気をもって、やさしさを実践できる子どもに育てる。

○自主性・主体性を育てる集団づくりのなか、自分の目でみて、自分の耳できいて、自分の頭で考えて、いきいきと行動できる子どもに育てる。

○幼い命の成長に添おうとするすべての人々の叡智と、きめ細やかな養護、適切な援助、家庭支援等、誠実な実践によって共に学び合う。

○鋭い感受性を持った創造的な芸術家としての子ども、深い人間愛を身につけようとする生活者としての子ども、そのかけがえのない命が表現するよろこびを受容し、よろこびとかなしみを共有して行く。

○身体的にも精神的にも社会的にも健やかな子どもたちに育てる

「一人一人を大切にする保育」とは何か、育児担当制や異年齢保育を実践していく上で大切にしていきたいことは何か等、入園進級説明会で保護者に説明するとともに、職員全体で園内研修の場でも継続的に学んできた。保育理念、基本方針については、事業計画書、園のしおりに明文化し、職員には事業計画書（要旨）、園のしおり、保護者には園のしおりを配布した。

(2) 組織運営

①平成 30 年度職員体制（平成 31 年 3 月末時点）

園	長	1 名（専任）
副	園 長	1 名
主	任	1 名
副	主 任	2 名
調	理 責 任 者	1 名
保	健 責 任 者	1 名
事	務 責 任 者	1 名

0 歳児保育士 3 名

1 歳児保育士 4 名

2 歳児保育士 4 名

幼児異年齢① 2 名

幼児異年齢② 2 名

幼児異年齢③ 2 名

一時保育保育士 1 名

看 護 師 1 名

給 食 調 理 3 名

【非常勤・パート職員】

幼児保育補助 4 名

乳児保育補助	7名
延長保育補助	6名
一時保育補助	3名
給食調理補助	3名
事務補助	1名

②平成 30 年度中採用職員（正規職員）

保育士	2名
栄養士	1名

③平成 30 年度中採用職員（非常勤・パート）

保育士	7名
保育補助	1名

④平成 30 年度中退職職員（正規職員）

保育士	2名
-----	----

⑤平成 30 年度中退職職員（非常勤・パート）

保育士	6名
保育補助	2名
調理補助	1名

⑥平成 30 年度末異動職員（正規職員）

園長	1名
----	----

職員参加による保育の質の向上や改善の取り組み

- a. 6月と12月の年2回の自己チェックリスト及び園長・副園長による面接ヒヤリングを実施自己の職務の到達度の確認や課題の整理を行うとともに、9月の職員意識調査、研修希望調査などにより、職員の考えや意見を運営に反映できるように努めた。同時に、職員の能力や役割に応じた研修に参加し学べるようにしてきた。
- b. 職員研修の実施
(園内研修)

回	月日	研修内容	担当者・講師
1	4月25日	幼児研修	幼児職員、園長、副園長
2	5月31日	幼児研修	乳児職員、園長、副園長
3	6月1日	乳児研修	乳児職員、園長、副園長

4	6月5日	わらべうた研修	
5	6月7日	救命救急（AEDの使い方）研修	新川消防署
6	6月29日	幼児研修	幼児職員、園長、副園長
7	7月19日	巡回指導	
8	7月27日	乳児研修	乳児職員、園長、副園長
9	7月30日	絵本講座	
10	9月18日	わらべうた研修	
11	9月21日	巡回指導	
12	10月11日	保育研修	
13	11月1日	乳児研修	乳児職員、園長、副園長、主任
14	11月2日	幼児研修	幼児職員、園長、副園長、主任
15	11月6日	不審者対策（さすまた訓練）	田無警察署
16	1月22日	幼児研修	幼児職員、園長、副園長、主任
17	1月25日	乳児研修	乳児職員、園長、副園長、主任
18	1月29日	わらべうた研修	
19	3月16日	次年度に向けての研修	園長、副園長、主任

（園外研修機関等での研修）

一人一人の子どもを大切に保育することを学ぶための定期研修に職員を派遣した。育児担当制や異年齢保育、問題行動への対応、発達障害児への支援等の研修を主に派遣した。

【保育】

回	月日	研修内容	主催・研修先	参加者
1	5月16日	指導検査講習会	なかのZEROホール	1名
2	6月10日	保育環境としてのおもちゃ	保育創造セミナー	3名
3	6月6～8日	乳児保育担当者研修会	日本保育協会	1名
4	7月3日	保育所の防火防災対策	中野 zero	1名
5	6月8日	栄養管理講習会	多摩小平保健所	1名
6	8月27日	子育てに健康体育を	秋草学園短期大学	1名
7	8月8日	就学相談講演会	教育庁神楽坂庁舎	1名
8	8月23日～25日	幼児教育リーダー研修	東京保育専門学校	1名
9	8月27日	子どもの健康づくり研修会	秋草学園短期大学	1名
10	8月30日～9月1日	障がい児保育研修	東京保育専門学校	1名
11	11月26日	他園見学	まどか保育園	3名
12	12月3日	新指針要領をふまえて	白梅学園	1名
13	12月12日	危機管理講演会	まろにえホール	2名
14	11月29日	発達の気になる子、障がい児を含めた保育	わかくさ学園発達相談室	1名
15	2月20日	こどもサポーター認証講座	白梅学園	1名

16 2月27日 発達のなかのことばと保護者支援 わかくさ学園研修会 1名

【給食】

回	月日	研修内容	主催・研修先	参加者
1	6月8日	衛生管理講習会	多摩小平保健所	1名
2	10月10日	栄養管理講習会	多摩小平保健所	1名
3	10月29日	給食研究会	研究社英語センター	1名
4	12月7日	栄養管理講習会	多摩小平保健所	1名

【保健】

回	月日	研修内容	主催・研修先	参加者
1	6月13日	プール安全管理	小平市民会館	1名
2	10月11・12日	OJTスキルアップ講習会	研究社英語センタービル	1名
3	10月18日	メンタルヘルス講習会	研究社英語センタービル	1名
4	11月16日	アレルギー対応強化研修	なかの zero ホール	1名
5	2月8日	アレルギー疾患講習会	イイノホール	1名

東久留米市 公立看護師会：13回出席 私立看護師会：6回出席

【事務】

回	月日	研修内容	主催・研修先	参加者
1	11月22日	年末調整について	アルファ弥生	1名
2	11月5日 (法人研修)	年末調整セミナー	ルネ小平	1名
	月日	研修先	研修名	参加者
1	6月15日	八国山保育園	主任部会	1名
2	7月27日	八国山保育園	給食部会	1名
3	11月17日	綿商会館	ユーカリ福祉会全体会	職員16名
4	1月16日	小金保育園	看護師会	1名
5	1月25日	松戸みなみ保育園	主任部会	1名
6	2月21日	中野南台保育園	給食部会	1名

C. 講演・発表

9月22日～24日 日本特殊教育学会第56回大会 大阪国際会議場 1名

D. 会議

ア) 職員会議

月	日	主	な	内	容
4月	19日	協力生産者の畑について	新	年度業務内容確認	
5月	22日	職員採用の件 畑の件 園児健康診断の件	各	クラス報告	
6月	18日	就職フェスタの件 夏まつりの件 就業規則の件	プ	ールについて	
7月	17日	保護者支援について 掃除洗濯業務の確認	安	全対策に関する件	
8月	23日	引き渡し訓練について 食育計画の件	運	動会の件 照明・エアコンの件	
9月	20日	事故防止の件 保育環境の件	運	動会の件 各クラス報告	
10月	23日	第三者評価の件 散歩中の安全の件	保	護者支援の件 各クラス報告	
11月	22日	おたのしみ会の件 おにぎりの会の件	園	児ケース検討	
12月	21日	冬まつりの件 園児の安全(誤飲防止)について	各	クラス報告	
1月	24日	継続書類の件 環境整備の件	園	児ケース検討	

2月20日	新年度に向けて 衛生委員会より 各クラス報告
3月15日	環境整備（2階テラス等）の件 卒園式の件 部屋移動の件 各クラス報告

イ) 保育会議

月 日	主 な 内 容
4月5日	職員体制の件 園内研修の件 アレルギー児確認 各クラス報告
5月10日	宿舍借り上げ制度の件 アレルギー児報告 園児の怪我に関する検証
6月8日	痙攣・アナフィラキシーの件 夏まつりの件 各クラス報告
7月5日	夏まつりの件 研修報告 各クラス報告
8月9日	保育体制確認 引き取り訓練の件 運動会の件 各クラス報告
9月6日	衛生委員会の件 運動会の件 各クラス報告
10月2日	保護者からの要望について 運動会の件
11月8日	東京都食育フェアの件 移行期間の件 歯磨きの件 園児ケース検討
12月10日	補正予算の件 各クラス報告
1月11日	次年度事業計画・予算案の件 引継ぎノートの件 園児ケース検討
2月13日	各クラス報告
3月7日	部屋移動の件 保育書類の件 卒園式の件 冬まつりの件 各クラス報告

ウ) その他の会議

会 議 名	特 筆 事 項
乳児リーダー会議	乳児クラス責任者・副園長・主任・看護師が参加。 月1回実施
幼 児 会 議	幼児クラス職員・副園長・主任が参加。 月2回実施
責 任 者 会 議	園長・副園長・主任・部署責任者における運営会議。 月1回実施
給 食 会 議	給食職員全員と園長・副園長 月1回実施
年間保育計画会議	年間カリキュラム確認、保育方針等の確認。 5/14実施
年間保育反省会議	年度に実施した保育内容についての反省会議。 2/2実施
ク ラ ス 会 議	クラス単位でのカリキュラム会議。 随時
パ ー ト 会 議	部署ごとに業務内容の申し送りと確認 月1回実施

(3) 園と地域との関係性・保護者との良好な関係の構築

夏まつりや冬まつりは園と保護者会との共催で行われた。また、保護者会文化担当者において以下の催事を行って頂いた。

- ・いづみれいなの手あそびトンタタ(9月6日)
- ・西武鉄道スマイルアップ教室(10月10日)
- ・バルーンアートショー(11月30日)
- ・バイオリンコンサート(12月19日)

園の子どもたちと保護者及び子育て支援センター、近隣に声かけし参加を呼びかけた。

6月3日年長児があしながチャリティコンサートの童謡まつりに出演し、2曲披露した。

6月25日に近隣の老人ホームに年長児が行き歌を披露し、喜んでいただけた。

7月23日に東久留米市立中央図書館から2名来園され、3歳、4～5歳児に絵本の読み聞かせをしてくださった。

9月11日・18日に神宝小学校6年生が1クラスづつ来園し、幼児クラスの子ども達と交流した。

9月18日にみどりの丘、19日にセラビーさんに年長児が行き、歌や詩を披露してきた。

10月25日・29日に2回目の神宝小6年生との交流を行った。

市内の5つの小学校に保育要録を届けた。近隣の小学校に行く子供たちの引継ぎを行った。第六小学校の展覧会に招待していただき作品を見ることで年長児は期待感が高まった。近隣の特養施設の駐車場をお借りして、夏祭りの手作りおみこしを披露し喜んで頂けた。

保育参加は、随時希望日に参加して頂いた。今年度 80 人の保育参加があった。幼児クラスの年少児の保護者と6～7月に、年中児の保護者とは10～11月に個人面談の機会を設けた。

さくら隊として有志の父親たちが、夏まつり、冬まつり、運動会において、会場設営・荷物運び・警備・花火・模擬店協力等々、多方面にわたり活躍して下さった。

2. 子どもの発達援助・子育て支援

(1) 入所児童状況

① 月別園児編成表（初日在籍人員）

月	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
4	8	19	22	22	22	19	112
5	8	20	22	23	22	19	114
6	9	20	22	23	22	18	114
7	9	20	22	23	22	18	114
8	9	20	22	23	22	18	114
9	9	20	22	23	22	18	114
10	9	20	22	23	22	18	114
11	9	20	22	23	21	18	113
12	9	20	21	23	22	18	113
1	9	19	22	23	22	18	113
2	9	20	22	23	22	18	114
3	9	20	22	23	22	18	114
合計	106	238	263	275	263	218	1363

② 平成30年度新入園児（29名：月表示の無いものは4月入園）

0歳児 9名

（1名6月入園）

1歳児 12名

（1名5月入園）

2歳児 3名(1名1月入園)

3歳児 5名(1名5月入園)

③ 平成30年度中途中退園児（6名）

1歳児：1名(12月末)

2歳児：1名(11月末)、1名（3月末）、1名（3月末）

4歳児：1名(10月末)

5歳児：1名(5月末)

④ 平成30年度卒園児（18名）

(2) 障害児保育

年齢別区分	児童イニシャル	児 童 の 状 況	市 認 定 月 ・ 備 考
5歳児	R.T	発達がゆるやか	H29.9月認定
4歳児	T.S	物の理解・対人関係の困難さ	
4歳児	S.A	発達がゆるやか	H29.9月認定
4歳児	S.N	運動機能障害	
4歳児	M.M	発達がゆるやか	H30.12月認定
4歳児	S.N	発達がゆるやか	H31.3月認定
3歳児	K.S	発達がゆるやか	H30.4月認定
3歳児	H.T	発達がゆるやか	H30.9月認定
3歳児	R.U	発達がゆるやか	H30.9月認定
2歳児	H.S	発達がゆるやか	H30.4月認定
2歳児	S.Y	発達がゆるやか	H31.1月認定
2歳児	K.S	発達がゆるやか	H31.2月認定
2歳児	O.M	発達がゆるやか	H31.3月認定

(3) 延長保育事業（時間区分別利用状況）

利用区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1時間利用	111	94	131	88	117	72	109	119	112	92	121	130	1296
2時間利用	59	52	67	53	44	40	56	45	66	60	52	74	668
合 計	170	146	198	141	161	112	165	164	178	152	173	204	1964

(4) 一時預かり保育事業

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
半日	21	25	24	19	16	16	15	20	11	4	9	8	188
1日	89	81	109	120	118	78	104	108	110	111	117	128	1273
合計	110	106	133	139	134	94	119	128	121	115	126	136	1461

(5) 行事

月	日	曜	行 事	備 考
4	6	金	ポニーとのふれあい	避難訓練（20日）
	12	木	健康体育	
	16	月	折り紙で遊ぼう	
	17	火	よもぎつみ(年長)	
	18	水	0歳児健診	
	19	木	よもぎつみ(年長)	
	23	月	お茶のお稽古（年長児）	
	24	火	マルトンさんのお絵描き遊び	
	26	木	健康体育	
5	2	水	子どもの日のお祝い	
	9	水	草もち作り	避難訓練（30日）
	10	木	健康体育	年間保育計画会議（5/12日）
	11	金	ポニーとのふれあい	
	17	木	田植え	<懇談会>
	21	月	折り紙であそぼう	ゆき（23日）

月	日	曜	行 事	備 考
	22	火	マルトンさんのお絵描き遊び	つき(24日)
	23	水	全園児健診	はな(25日)
	24	木	健康体育	
	30	水	お茶のお稽古(年長児)	
6	7	木	健康体育	避難訓練(20日)
	8	金	ポニーふれあい	
	13	水	0歳健診	
	14	木	お茶のお稽古(年長児)	
	18	月	交通安全教室	<懇談会>
	18	月	折り紙遊び	ほし(13日)
	19	火	健康体育	そら(14日)
	21	木	歯科健診	にじ(15日)
	22	金	年長遠足(ジャガイモ堀り)	
	26	火	マルトンさんのお絵描き遊び	
	27	水	プール開き	
7	5	木	お茶のお稽古(年長児)	
	7	金	七夕の集い	
	11	水	0歳健診	
	12	木	健康体育	避難訓練(19日)
	19	木	ポニーとのふれあい	
	21	土	夏まつり	
	24	火	マルトンさんのお絵描き遊び	
	25	水	川遊び(年長)	
	26	木	健康体育	
8	2	木	ポニーとのふれあい	
	9	木	健康体育	
	21	火	マルトンさんのお絵描き	
	22	水	0歳児健診	避難訓練(17日)
	24	水	じゃが芋植え(年長)	
	23	木	健康体育	
	31	金	プールおさめ	
9	5	火	ポニーとのふれあい	災害時引き取り訓練(3日)
	7	金	年長お泊り保育(養沢溪谷)	
	8	土	年長お泊り保育(養沢溪谷)	
	10	月	折り紙で遊ぼう	
	12	水	0歳時健診	

月	日	曜	行 事	備 考
	13	木	健康体育	
	20	木	お茶のお稽古(年長児)	
	20	木	祖父母ふれあいデー	
	20	水	歯磨き指導(2歳児～5歳)	幼児クラス個人面
	25	火	マルトンさんのお絵描き遊び	(年少児保護者)
	27	木	健康体育	
	28	金	親子健康体育	
10	2	火	健康体育	<懇談会>
	3	水	稲刈り	ほし組(19日)
	6	土	運動会	そら組(24日)
	10	水	西武鉄道スマイルアップ教室	にじ組(25日)
	15	月	折り紙の会	
	17	水	全園児健康診断	
	19	金	魚の会	
	20	金	健康体育	
	22	月	お月見団子づくり	
	24	水	お茶のお稽古(年長児)	
	25	木	神宝小学校6年生との交流	避難訓練(16日)
	26	金	さつまいも掘り(3～5歳)	
11	1	木	ポニーとのふれあい	避難訓練(29日)
	8	木	健康体育	年長…煙体験
	12	月	やきいもの会	
	12	月	折り紙の会	
	14	水	0歳児健診	幼児クラス個人面談
	15	木	歯科検診	(年中児保護者)
	16	金	年中 球根植え	
	16	金	年長 山登り	
	20	火	マルトンさんのお絵描き遊び	
	21	水	お茶のお稽古(年長児)	
	22	木	健康体育	
	27	火	おにぎりの会	
12	3	月	折り紙の会	避難訓練(18日)
	4	火	お茶のお稽古(年長児)	
	6	木	健康体育	
	9	火	お話キャラバン隊	
	11	火	マルトンさんのお絵描き遊び	

月	日	曜	行 事	備 考
	12	水	0歳健診	
	15	土	おたのしみ会	
	18	火	大根抜き(年長児)	
	20	木	健康体育	
	21	金	ポニー	
	27	木	鏡もち作り	
1	7	月	ポニーとのふれあい	
	7	月	折り紙の会	
	8	火	鏡開き	
	10	木	健康体育	
	11	金	どんど焼き	
	18	金	展覧会見学(年長児)	
	19	土	冬まつり	
	22	火	マルトンさんのお絵描き遊び	
	24	木	健康体育	
	25	金	お茶のお稽古(年長児)	
				避難訓練(29日)
2	1	木	ポニーとのふれあい	年間反省会議(2日)
	7	木	健康体育	懇談会
	15	水	0歳健診	ほし(7日)
	15	金	お茶のお稽古(年長児)	そら(8日)
	21	木	お話会	にじ(12日)
	21	木	健康体育	ゆき(13日)
	22	金	みそ作り(年中児)	つき(14日)
				はな(15日)
				避難訓練(19日)
				防犯訓練(26日)
3	4	月	折り紙で遊ぼう	
	5	火	カレー作り(年長児)	
	7	木	お話会	
	7	木	健康体育	
	8	金	卒園遠足	
	11	月	折り紙で遊ぼう	
	13	水	0歳健診	避難訓練(予告なし)
	14	木	お茶のお稽古(年長・年中児)	
	15	金	ポニーとのふれあい	

月	日	曜	行 事	備 考
	16	土	入園進級説明会	
	23	土	卒園式	
	25	月	健康体育	
	26	火	マルトンさんのお絵描き	
	29	金	お別れ会	

(6) 保育備品・設備整備

項 目 名	費用	業者・その他
掃除機【ダイソン】	50,000	ケーズデンキ
ワイドパールST800 キャスターなし	81,000	岩崎
かんたん床暖	45,000	ケーズデンキ
加湿空気清浄機【42畳】 全自動おそうじ機能付き	33,570	ムラウチドットコム
ミシン	64,584	アイミ商事
中量物品棚+簡易式落下防止バー 工事一式	361,530	大塚商会
車用シートカバー【撥水機能付】	43,714	笹島モータース
電解生成装置・軟水器一式	654,624	ホシザキ東京
ガス釜	36,180	リンナイ
デリカウォール設置工事【書類棚】	298,080	大塚商会
就業ライセンス【システム刷新】	1,475,928	アマノ
ナイチンゲール2型	43,200	岩崎
ホットキャビ	31,968	岩崎
軽っこおさんぽカー・ノーパンクタイヤ仕様	151,200	岩崎
ミニメッシュトンネル 5色組	34,560	岩崎
ジオフィクス 園用セットM	34,992	武蔵野こどものとも社
ジオフィクス 園用セットM	34,992	武蔵野こどものとも社
ジオフィクス 園用セットM	34,992	武蔵野こどものとも社
リグノ	32,000	木楽や
シューズボックス	284,040	ジャクエツ
キー・ハウス	23,230	武蔵野こどものとも社
キー・ハウス	23,230	武蔵野こどものとも社
台車DX-311	18,360	岩崎

(7) 建物修繕・設備管理

項 目 名	費用	業者・その他
ガス給湯器 修理代	53,244	富士エンジニアリング
園庭遊具 修繕代	613,000	木楽や
食洗器・スチコン 修理代	78,300	日本調理器
園庭水栓・2Fトイレ水栓 修理代	41,580	加藤設備
園庭整備【樹木伐採】	253,352	アルテ造園
避難扉 修理代	121,284	矢部鉄建
遮光ネット 設置・修理代	122,854	矢部鉄建
扇風機【調理室】 設置工事	91,476	因幡電機
ガス回転釜 修理代	19,440	日本調理器
グリストラップ 清掃代	29,160	井田環境サービス
押し入れ設置・トイレ衝立 工事	1,468,800	相羽建設
トイレ排水 修理代	10,800	加藤設備
園庭整備【台風被害樹木伐採】	37,352	アルテ造園
保冷库 定期メンテナンス代	14,040	福島工業
ガス給湯器 修理代	136,080	富士エンジニアリング

園内清掃【排水管高圧洗浄】	118,800	ACE
園庭遊具 点検代	38,880	木楽や
園内清掃【厨房設備・換気口】	214,920	ACE
グリストラップ 清掃代	29,160	井田環境サービス
園庭整備【樹木伐採】	124,352	アルテ造園
2F屋外通路デッキ取付工事	1,328,400	ライフ東久留米店
ガス回転釜 修理代	36,180	三協メンテナンス
園庭遊具 修繕代	313,200	木楽や
1Fデッキ改修・腰壁補強 工事	1,397,520	相羽建設
暖房便座増設 工事	946,080	ライフ東久留米店
LEDリース（残債一括分）	1,087,020	リコーリース
サーバー・パソコン・ソフトリース（残債一括分）	1,486,512	三井住友FLキャピタル

(8) 第三者評価・保護者アンケートの実施

【調査概要】

評価機関：有限会社 第一福祉マネジメント

調査対象：園を利用している総人数114名の内、兄弟で利用している場合は1世帯1回とした102世帯数を対象に調査実施。

調査方法：アンケート方式

各クラスごとに調査票を配布し、回収はBOXへの投函と機関への郵送をしてもらう形をとった。園に対する要望等の自由記述欄には、保護者から様々な声がよせられた。

利用者総数：114人

利用者家族総数（世帯）：102世帯

共通評価項目による調査対象者数：102人

共通評価項目による調査の有効回答者数：68人

利用者家族総数に対する回答者割合（%）：66.7%

調査項目：共通評価項目

【調査結果全体コメント】

総合的な満足度では「大変満足」52.9%「満足」39.7%と満足以上への回答が全体の92.6%「不満以下」への回答が0%となっており、利用者からの満足度は非常に高いものとなっている。各設問では「園での活動は興味や関心を持って行えるものになっているか」「食事は子どもの状態に配慮された工夫があるか」では94.1%の利用者が「はい」と回答し高い満足を示している他、5つの設問でも80%以上の満足が得られている。特に「園での活動は心身の発達に役立っているか」の項目においては回答者全員が「はい」と回答する100%の満足が得られた特筆した結果となっている。利用者コメントにおいても「安心してのびのびと過ごさせています。職員の皆様に感謝しています」「子どもを主体とした、とても素晴らしい園だと思います。保護者の事情も配慮して下さり、大変助かっています」「食育に力を入れ、食べる事や作物を育てる事の大切さを教えてくれて子どもの為になっています」等、園や職員への心からの感謝や様々な取り組みにおいて多くの肯定的な意見が寄せられていた。理念・方針に基づき提供される質の高い保育への利用者の関心度も高く満足度へと繋がっている事が窺えた。

（出典：福ナビ とうきょう福祉ナビゲーション 東京都福祉サービス第三者評価利用者調査結果）

(9) 東京都福祉保健局指導検査・・・30年度はなし

3. 地域住民・関連機関との連携

実習生・ボランティアの受け入れ

(1) 保育士養成校

学校名	人数	学年	実習期間
東洋大学	1名	子ども支援学科3年	8/22～9/3) 全クラス
東洋大学	1名	子ども支援学科4年	8/29～9/11(幼児クラス)
白百合女子大学	1名	人間科学部児童学科3年	2/4～2/18(幼児クラス)

(2) ボランティア・職場体験等

ボランティアセンターによる夏体験ボランティア、小学校の総合学習、中学校の職場体験の受け入れは、園児の通常の生活に支障がないように、受け入れ人数や受け入れ時間帯に十分配慮をした。

夏体験ボランティア 中学生2名、高校生2名、保育学生1名・3月～10日間保育学生1名

職場体験：東久留米市立東中学校2年生3名

小学校との連携

月日	内容	学校名	参加者
4月6日	入学式参列	第六小学校	園長
5月19日	神宝小運動会見学	第六小学校	土曜保育園児 職員
5月21日	就学予定児観察	特別支援担当者	3名(心理士)
5月26日	第六小運動会見学	第六小学校	土曜保育園児 職員
5月26日	第二小運動会見学	第二小学校	職員2名
8月29日	神宝小6年生交流打ち合わせ	神宝小学校	2名
10月19日	交流にむけての話	神宝小学校6年生	職員1名
10月20日	第六小学校公開参加	第六小学校	園長
2月16日	就学児申し送り	第六小学校	園長 職員1名
2月17日	6小訪問(5年生との交流)	第六小学校	年長児 園長 職員1名
3月6日	就学児申し送り	神宝小学校	園長 職員1名
3月14日	入所予定児行動観察	神宝学童クラブ	職員1名
3月27日	就学児申し送り	南町小学校	園長 職員1名
3月1日	保育所児童保育要録送付	第六小 神宝小 第二小 第三小 第五小	園長

関連機関との連携(見学・研究・調査等の受け入れ)

月日	内容	関係機関	受け入れ者数
4月～8月	1歳児(新入園児)が母から離れて慣れていく様子の観察	早稲田大学人間科学研究科	学生1名
4月26日	気になる子の観察	わかくさ学園	2名
4月23日	3～5歳の観察	早稲田大学学生	11名

5月21日	3～5歳の観察	早稲田大学学生	11名
6月7日	肢体不自由児の介助の仕方について	わかくさ学園	スタッフ2名
5月21日	3～5歳の観察	早稲田大学学生	学生11名
6月7日	肢体不自由児の介助の仕方についてと、気になる子の行動観察	わかくさ学園	スタッフ2名
6月26日	肢体不自由児の車椅子操作について	東京小児病院	リハビリスタッフ
6月18日	3～5歳の観察	早稲田大学学生	学生11名
7月2日	3～5歳の観察	早稲田大学学生	学生11名
8月6日、7日	授業研究(食育について)	東京国際福祉専門学校学生	学生1名
10月3日	卒業研究への協力	帝京科学大学人間科学部こども学科	学生2名
11月26日	他園見学	まどか保育園	副園長 職員2名
2月26日	小学校へ申し送り	第六小学校森	職員1名
2月27日	小学校へ申し送り	神宝小学校へ	園長 職員1名
随時	要保護児童に関する連携	子ども家庭支援センター	園長

4. 健康管理・食事

調理室

(1) 給食提供時の配慮

- ① 生命の保持及び情緒の安定を図るために、子どもの発育・発達に応じて適切な栄養摂取に配慮し、子どもにとって美味しく魅力的な食事であるよう努めた。
- ② 栄養士による専門的に配慮された献立を提供しているという特徴を活かし、家庭からの食生活に関する相談に応じ、助言・支援にあたるように努めた。
- ③ 子どもにとって食事の場が親しみとくつろぎの場となるよう、温かくゆとりのある食事時間を確保できるように努めた。
- ④ 食事の場が人間的な信頼関係の基礎をつくる場であることに重視し、子どもが人と関われる力が育まれるように努めた。
- ⑤ 食材に触れること、四季折々の行事への参加、行事食を通じて、子どもが季節の食材を知る、行事を知る、季節の食材を知る等の体験をし、いろいろな食べものに親しみ、興味や関心を育てるように努めた。
- ⑥ 食物を育ててくれる人、食事を作ってくれる人、食事の配膳を整えてくれる人、一緒に食べてくれる人の存在に気づき、こうした人々の思いに気づく体験が積み重ねられるよう努めた。
- ⑦ 食品の種類、量、大きさ、固さ、食具等に配慮し、食に関わる体験が広がるよう工夫した。
- ⑧ 離乳食、食物アレルギー、体調不良等の様々な状況下に応じた個別対応に努めた。
- ⑨ 小食や過食にならないよう自分の適量を知る、よくかんで食べる、満腹感を覚える等の体験を積み重ねら

れるよう配慮し、子どもにとって食に対する前向きな気持ちを育み、毎日の食事が楽しくなるよう努めた。

- ⑩ 毎月発行される「たのしくたべよう」ポスター、給食だよりにより、こどもだけでなく保護者が食に対する興味を持つよう努めた。
- ⑪ 偏食にならないよう、嫌いなものを一口でも食べることにより、苦手なことに克服する自信や達成感が得られるよう、また、チャレンジ精神が培われるような働きかけをした。
- ⑫ 離乳食児については、日々の食事の様子から判断し、一人ひとりの発達段階にあわせた離乳食を提供するように努めた。

(2) 給食提供の工夫

- ① 偏りのないよう、数多くの食品、様々な調理法を取り入れた。同じ献立でありながらも、味付け、色合い、盛りつけ方法を変える等配慮した。
- ② 食材の持ち味を生かすため、塩味、甘味を控えた薄味にした。
- ③ 咀嚼力を育てるために、食材の選定、切り方に留意した。
- ④ 味噌、梅干し、たくわん、餅等、地域で脈々と受け継がれてきた食文化を伝承していきながら、子どもの手作りのものを献立内に取り入れ、子どもの食べる意欲と心を育てる環境、雰囲気大切にしました。
- ⑤ 適温給食が提供できるように、調理出来上がり時間を調整した。
- ⑥ 食器は陶器の重さを知る、また、食材の色を引き立たせる等の理由から、安全性の高い白磁の食器を使用した。また0歳児、1歳児クラスで数名、ユニバーサルデザイン食器を導入した。導入したことにより食具の使い方が上達した子どもが多くみられた。年度の後半から年長児で使用する箸は、子どもが持ちやすい六角箸を使用していたが、劣化してしまっただけ再購入を試みたが、商品が廃版になってしまったため、新しくすべり止め付のものを使用している。
- ⑦ 食物アレルギー児、体調不良児等に対して、保護者、保育士、看護師と相談し、できうる限りの個別対応をした。食物アレルギー児に関しては、診断書、食事指示書を定期的に提出していただき、家庭と十分話し合い協力しながら対応した。
- ⑧ 離乳食に関して、保護者、保育士、看護師と相談し、個々に対応し、成長にあった食材を選定し、発達に合わせた調理形態を工夫した。
- ⑨ 提携農家から旬の野菜の提供をしていただいた。減農薬を中心とする有機野菜、産地の明記された安全性の高い生鮮食品、化学調味料を含まない調味料を厳選し、使用した。
- ⑩ 月1回の給食会議を実施し、園長、副園長、栄養士で次月の献立内容、課題、問題点について検討した。
- ⑪ 食農保育の取り組みの際には、食材準備、調理等を行った。
- ⑫ 卒園児に対して、3月は献立をリクエストし、献立に反映させた。
- ⑬ 発注した食材中に異物混入があり、これらを未然に防ぐため依頼業者への指導、確実な発見のため給食室内での意識徹底を行った。

(3) 献立内容

- ① 日本の伝統的な料理を積極的に取り入れた。
- ② 和食を中心とした特色を活かし、主菜は肉、魚とし、野菜は、提携農家からの緑黄色野菜、淡色野菜、根菜類を優先的に使用した。調味料は添加物を使わない国産品の安全性の高いものを使用した。家庭では頻度の低いと考えられる乾物も多く使用した。

(4) 災害時の非常食

既存の備蓄品の補充と運用するための献立表を3日分作成した。

(5) 衛生管理

- ① 食中毒発生防止を図るため、調理過程等における重要管理事項を定めた大量調理施設衛生管理指針の管理形態を遵守した。

- ② 集団給食衛生管理者に対し、食品衛生に関する研修を受講した。
- ③ 多様な媒体や方法を通じて（給食だより）、家庭に対して食中毒の発生防止に関する情報を提供した。
- ④ 調理従事者の検便（月1回）、調理従事者の衛生チェック（毎日）を行った。11月から3月はノロウイルス検査も行った。
- ⑤ 肉、魚、牛乳は、検収時に十分な検品、温度測定を行なった。常に鮮度の高い食品のみを使用した。また、加熱時には中心温度を確認した。

(6) 家庭との連絡

- ① 毎月の献立表を実施月の前月末に配布し、保育所での食事内容を把握していただき、献立表を参考に家庭での食事とのバランスをとっていただくようにした。献立表の裏面にはたのしくたべようニュースの掲載し、食育情報を提供した。
- ② 乳児食、幼児食の給食サンプルを展示した。
- ③ 毎月発行される園便りに給食だよりを掲載し、子どもの園での食への関わりの様子等を伝えた。
- ④ 必要に応じてクラス懇談会に出席し、保護者の相談等に応じた。保育参加の保護者に給食を提供した。
- ⑤ 地域子育て支援の一つとして、離乳食講座を行い、保護者の離乳食や子どもの食事に関する支援に取り組んだ。

(7) 食農保育

「食農」の取り組みは、事物に触れ、聴き、観察し、匂いをかぎ、食するという五感で、様々なことを発見することができる大事な活動である。食べものが「生命」の源であることを、体験を通じて感じ、感謝する気持ちが育つこと、地域で脈々と受け継がれてきた食文化を伝承していくこと等を中心に取り組んできた。

月	行事とのつながり	家庭・地域との連携
4		
5	草餅づくり、子どもの日のお祝い、さつまいものつるさし	離乳食講座、懇談会
6	じゃがいもほり、梅干しづくり	
7	七夕のつどい、夏まつり	夏まつり
8	ポップコーン干し	
9	お月見団子づくり	
10	さつまいもほり、焼き芋の会、焼き魚の会	
11	おにぎりの会	里芋堀り
12	鏡餅づくり、冬至、たくわんづくり	
1	七草粥、鏡開き、どんど焼き、冬まつり	冬まつり
2	味噌づくり	
3	ひなまつり、カレーづくり	

また調理保育の活動も年齢ごとに担当分けをしたことで満遍なく行うことができた。各年齢に応じて季節の旬の食材を使用しながら活動した。

(8) 栄養基準量

[1～2歳]

	エネルギー(cal)	蛋白質(g)	脂質(g)	炭水化物エネルギー比(%)	脂質エネルギー比(%)	たんぱく質エネルギー比(%)
基準量	547	20.5	18.2	50～60	20～30	13～20
5月	437	18.2	11.9	59.0	24.4	16.6
8月	430	17.3	12.3	57.7	26.2	16.1
11月	588	29.4	22.3	43.9	35.3	20.6
2月	488	20.6	15.0	55.5	27.6	16.9

[3～5歳]

	エネルギー(cal)	蛋白質(g)	脂質(g)	炭水化物エネルギー比(%)	脂質エネルギー比(%)	たんぱく質エネルギー比(%)
基準量	575	20.7	15.3	50～60	20～30	13～20
5月	480	19.7	11.4	62.3	21.3	16.4
8月	474	18.8	12.0	61.0	23.2	15.8
11月	672	33.9	24.6	45.0	34.2	20.8
2月	528	22.1	14.6	58.8	24.6	16.6

【献立一例】

平成30年8月22日(水)		幼児			乳児		
	献立	エネルギー(kcal)	たんぱく質(g)	脂質(g)	エネルギー(kcal)	たんぱく質(g)	脂質(g)
朝おやつ	牛乳				54	2.6	3.0
昼	ご飯	159	2.7	0.4	127	2.2	0.3
	麻婆厚揚げ	195	15.8	13.4	157	10.4	10.8
	もやしとにらのナムル	20	1.3	0.7	17	0.9	0.6
	中華スープ	17	0.8	0	14	0.6	0
おやつ	ひじきごはん	142	3.1	1.7	140	3.1	1.7
	いりこ	15	2.9	0.3	12	2.3	0.2
合計		548	26.6	16.5	521	22.1	16.6

保健室

*内科健診：園医 高橋医院

・0歳児健診：4/18・5/9・6/13・6/27・7/11・7/25・8/8・8/22・9/12・9/26・10/24・11/14・11/28・12/12・12/26・1/9・1/23・2/13・2/27・3/13・3/27

・全園児健康診断：春季健康診断 5/23 プール前健診 5/23
 秋季健康診断 10/10

*歯科検診：水野歯科医院

春 6/14 82名 実施

秋 11/22 82名 実施

*感染症

	水痘	耳下腺炎性	流行性角結膜炎	咽頭熱	手足口病	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	伝染性膿痂疹	ヘルパンギーナ	突発性発疹	伝染性紅斑	インフルエンザA	インフルエンザB	RSウイルス
4月														
5月				1		1				3				
6月														
7月						1		1			1			
8月									4	2	2			
9月					1		3	1			1			1
10月					5			1						1
11月								1		1				
12月														
1月						3	2					32		
2月						5	5							
3月							7	1						
合計	0	0	0	1	6	10	17	5	4	6	4	32	0	2

*病院受診を要した怪我

5月	0才女児	右手中指皮下出血
7月	5才女児	下唇下切り傷、顎擦り傷
8月	2才男児	右肩肘内障疑い
8月	5才男児	右後頭部切り傷
8月	1才男児	右上AA打撲

・年齢別件数

0歳児：1件　1歳児：1件　2歳児：1件　3歳児：0件　4歳児：0件　5歳児：2件

・曜日別件数

月曜：0件　火曜：1件　水曜：2件　木曜：1件　金曜：1件　土曜：0件

・天候別件数

晴：4件　曇：1件

・時間別件数

7：15～0件、8：30～3件、12：00～1件、14：30～0件、17時～1件

・場所別

保育室；3件、園庭；1件、公園；1件

*感染防止への取り組み

嘔吐研修を正規職員以外のパートさん、シルバーさんにも広げることにより、嘔吐があった場面で全ての職員が適切な処理を行えるようになった。また、他の人の動きを知ることによって声を掛け合いながら子どもたちの移動、消毒薬での清掃などがスムーズに行えるようになった。

5. 安全管理

自衛消防訓練報告（消火・避難誘導訓練）

月	種別	内容	留意点
4/20	火災	休憩室より出火。避難誘導。初期消火訓練	職員の連携確認。役割の明確化も必要。
5/30	火災	地震発生想定で室内で安全防護措置。避難誘導。初期消火。	人員確認の際の職務分掌の確認。
6/20	地震 火災	地震発生後、室外機から出火。避難誘導。初期消火訓練	園外活動を行っている場合の、園児の避難状況の確認等のクラス間の連携が課題。
7/17	地震 火災	支援センターより出火。避難誘導。初期消火訓練	避難靴の所在の確認もしっかりと把握する。
8/17	火災	職員休憩室より出火 避難誘導。初期消火訓練	避難時の持ち出し物品の確認が必要。
9/3	地震 火災	震度5以上の地震発生を想定 避難誘導 消火訓練 引渡し訓練	引き渡しの場所、手順等の確認を十分に行っていく必要がある。
10/16	火災	近隣より出火 避難誘導 消火訓練	散歩先にいる際の安否確認や避難方法について確認をする必要がある。
11/29	火災	休憩室より出火（消防立合） 避難誘導 消火訓練 通報訓練 煙体験（年長児）	室内で煙体験を行ったことで、実際の避難状況を想定した体験が出来て良かった。
12/18	火災	調理室より出火 避難誘導 消火訓練	門扉に常時鍵がかかっているが、その開錠方法について、職員全体で確認。
1/29	火災	地震発生後、休憩室より出火 避難誘導 消火訓練	放送が聞こえるかどうかの日々の確認が必要である。
2/19	火災	休憩室より出火 避難誘導 消火訓練	暖房の消し忘れがあった。散歩先のクラスへの対応が課題。
3/26	火災	地震発生後、休憩室より出火 避難誘導 消火訓練	予告なしの訓練であったが、避難誘導はスムーズに行えた。災害時の対応について再度確認をしていく必要がある。